

<p>駅西ブロック 第39回ブロック部会 議事要旨</p>	
開催時	令和2年2月5日(水) 午後8時～9時35分
開催所	上十条区民センター「上十条ふれあい館」第1ホール
出席者	<p>【部会役員】阿部部会長(十条仲原一丁目会長)                  石原副部会長(十条富士見銀座商店街振興組合理事長)                  小林役員(十条仲原二・四丁目町会長)                  山本役員(いちょう通り十条駅西口商店会長)</p> <p>【事務局】十条まちづくり担当課長:石本                  十条まちづくり担当課:川添、森田、濱崎、小栗                  十条駅西口再開発相談事務所:山崎、末永、鈴木                  連続立体交差事業担当副参事:市川                  コンサルタント(都市計画同人):立野、三苫</p> <p>【オブザーバー】野口区議会議員</p>
参加者	6名(部会役員を除く)
議題等	<p>議題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・十条地区における建物の不燃化をより進める方法について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・十条駅周辺東地区及び岸町二丁目地区地区計画について</li> <li>・駅西ブロックにおける各事業の進捗状況について</li> </ul> <div data-bbox="352 1252 1437 1713" data-label="Image"> </div> <p>【第39回駅西ブロック部会の様子】</p>

議事要旨

-----駅西ブロック部会長あいさつ-----

大変寒い中、またお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。これより第39回駅西ブロック部会を開催いたします。

本日は、十条地区における建物の不燃化をさらに進める方法について、グループ形式で意見交換を行いたいと思います。現在十条地区で建物の不燃化を進めるため、行政では様々な支援制度を案内しております。さらに建物の不燃化を進めていくためには、どういった支援が必要か。また、皆さまが活用する場合、どういった支援があると良いか。そして、地域として、建物の不燃化を進めるためにどのような取組ができるか、皆さまのご意見をいただきたいと思います。

なお、限られた時間ですので、スムーズな進行にご協力ください。よろしく申し上げます。

○議題

-----十条地区における建物の不燃化をより進める方法について-----

■コンサルタントより、行政が現在実施中の支援制度について説明があった。

■グループ形式での意見交換

◆A班における主な意見

・3～4年前に地域で空き家があるかを調べたことがあるが、空き家の所有者の居場所を調べるのが難しいようだ。取り壊した方が良いと思われる空き家が多くあり、危険だからカラーコーンなどを前に置く場合もある。

・区が強制的に取り壊す場合、法定相続人を探した上で、対応をお願いし、それが叶わない場合に、法的な措置をとることできる。滝野川で1件、そうした対応を進めているところがある。

・まちづくりニュース等で支援制度の周知がされているものの、建替えの気持ちがない住民にはなかなか伝わらないのではないかと。

・2項道路の後退部分にフェンスや生け垣を作られており、車が通ることができなくなっている場所がある。住民同士で対応するとトラブルに発展してしまうため、行政から注意してほしい。建築課の役割ならば、対応させてほしい。

・今の木造住宅でも住み続けることができるため、不燃化を進めるには、やはり助成額を上げる必要がある。

・建物の不燃化とは話が逸れるが、区の道路拡幅整備で敷地が削られる場合、残地に住み続けたくとも、必要な建物の広さが確保できない。容積率・建ぺい率・日照権（日影規制）などの制限を緩和してほしい。

・是非、役所の対応として、意見を聞くだけに止まらず、一步前進した対応をお願いしたい。

◆B班における主な意見

・不燃化建替えに対して様々な支援制度があるが、高齢化が進んでいるうえ、建替え資金を保有している人もそう多くはないため、効果的な方策とは思えない。

・住民同士が防災を含む様々な問題を共有し、対策していこうという形にならなければ、まちづく

りは進まない。行政も支援対象エリアをまちづくりの意志があるエリアに対し集中的に予算を投下するようにするべきである。

- ・消防自動車が入れない狭い道路には、送水管網を整備する方が有効ではないか。
- ・建物の共同化は有効な方策だと思うが、コミュニティのあり方が、昔とは異なっているため実現は難しい。
- ・墨田区では以前から、まちのあちこちに路地尊（雨水利用施設）が整備され、防災のコミュニティが育成されている。十条でもそれを真似たがうまくいかなかったと聞く。また、横浜の密集地域では、住民の要望で狭い道路向けの小さな消防自動車が作られたと聞いた。十条も地域の防災コミュニティを育てられるまちになって欲しい。
- ・まちづくりは、否定的な部分から出発してしまいがちではないか。特に防災のまちづくりは、倒壊や火災の危険があるからゼロにしようというまちづくりである。まずは地域住民がまちの良さや将来像を共有化したうえで、それを実現するためには何が必要かを考える。その中で防災対策という課題が出てきてからでないと、いつまでも自分たちの問題と考えないのではないか。

#### ○報告事項

-----十条駅周辺東地区及び岸町二丁目地区地区計画について-----

事務局より配布資料及びスライドに沿って、十条駅周辺東地区及び岸町二丁目地区の地区計画について報告があった。

-----駅西ブロックにおける各事業の進捗状況について-----

事務局から、配布資料及びスライドに沿って駅西ブロックにおける各事業の進捗状況について報告があった。説明があった。

#### ■質問事項

(参加者) 各路線の用地取得予定件数を教えてもらえますか。

(北 区) 地区幹線道路は用地取得予定件数が約 30 件であり、そのうち 4 件を取得、主要生活道路 1 号線は用地取得予定件数が約 6 件あり、そのうち 1 件を取得、主要生活道路 2 号線は用地取得予定件数が約 17 件ありますが、まだ取得をしておりません。

(参加者) 主要生活道路 2 号線は、なぜ王子第五小学校前の東側道路としたのか。反対側の方が細いので良かったのではないか。また、何故、十条駅西口地区の地区計画に反して、十条駅西口の 2 本のケヤキの木を伐採するのか。

(北 区) 主要生活道路 2 号線の位置ですが、拡幅道路を検討するなかで、この道路は車や人の交通量も多いとともに、王子第五小学校が面している距離が長いことも選定の理由です。また、バス通りとの交差部のマンション側が歩道状に後退している点で、施工しやすい点も利点と考えています。

先日の駅東・83 ブロック部会でもお話があった事柄ですが、十条駅西口の再開発と合わせて地下駐輪場を設ける必要性があり、地下駐輪場の工事に支障となる点、樹木医の

診断では交番に近く、根が張っているため、移植は困難との判断から、伐採することとしました。駅前広場の植栽は、人の動線を考慮しながら、計画していきます。

-----閉会: 駅西ブロック副部長あいさつ-----

本日は、色々なご意見をいただきまして、ありがとうございました。引き続きご協力の方をよろしく願います。本日は、ありがとうございました。